

AloAsha

（活動の内容）

支援をさまざまな形で還元していくため、**就業に必要な技術を学んでいます。**

プロジェクトでは、学園での教育支援、農業技術移転、環境保全、起業支援を柱とした活動を行っています。



「アロアシャ学園」で学ぶ子どもたちは、基礎教育のほか、



外国語、コンピュータ、手工芸、畜産、野菜作りといった、就業に必要な技術を学んでいます。

自立にあたっては、イチゴ、養鶏、バイオマス

などの農業技術指導プロジェクトを立ち上げたほか、国内

外の機構と協力して、生産流通システムを構築することも計画中です。また、日本の小学校とアロアシャ学園の子どもたちとのインターネット会議の試みも新たに始まっており、これ



ら学校交流は、今まで地域の方たちから受けてきた支援をさまざまな形で還元していくための大切な事業と位置づけています。

バングラディッシュの紹介



国名：バングラディッシュ人民共和国
首都：ダッカ
面積：147,570平方km
人口：12,925万人(2001年)
人口密度：約875人/平方km
言語：ベンガル語95% 他5%
通貨：タカ
成人識字率：48.7% (1998年)
宗教：イスラム教88.3% ヒンズー10.5%
仏教0.6% キリスト教0.3% 部族信仰0.3%
平均気温：夏 21℃～34℃
冬 9℃～29℃

（ノクシカタの販売）

伝統あるノクシカタの製作も**学校運営の重要な資金源になっています。**

ノクシカタはベンガル地方の伝統的な刺しゅうです。もともとは着古されたサリー(女性用の一枚布でできた衣装)やルンギ(男性の筒状の布の衣装)を3～4層に重ね合わせ、密な刺し子を施して、冬用の布団やベッドカバーなどに再利用するために生まれた実用的な技術です。



ノクシカタの特徴はさまざまな色でモチーフの刺しゅうを中央、四隅、縁の順で施していき、その後に布と同じ色の糸で空いた部分をびしりと縫い込んでいく点にあります。ノクシカタのモチーフにはベンガル地方の女性を取り巻く世界が使われています。

その伝統のあるノクシカタをアロアシャの子どもたちが指導を受け、製作したものを販売しております。この売り上げも学校の重要な運営資金になっています。



Project